

# ちぐさ

千草台公民館だより No.7  
千葉県稲毛区天台 3-16-5  
☎043-255-3032  
2022(令和4)年9月29日発行



これまで以上に『安心・安全』な図書室で、

充実した読書の秋を！

10月を迎え、1年のうちでも一番過ごしやすい季節となりました。秋本番ですね。

さて、秋というと、頭に浮かぶ言葉の一つに「読書の秋」があります。本館に併設されている図書室も、やはり秋には利用者が増えます。ですから、この時期に先がけて、9月14日(水)～17日(土)の4日間で、懸案事項であった「図書室書架の耐震補強工事」を行いました。利用者の皆様には多大なご不便をおかけしましたが、ご理解とご協力をいただきましたこと、書面をもって感謝申し上げます。ありがとうございました。

ところで、工事後どこが変わったのかというご質問を多々受けますので、ご説明いたします。児童用の木製書棚の奥に、小説の単行本や専門書等、背中合わせになった3列の金属製書架があります。これが長年の書籍の重さや床の歪みにより、傾いたりぐらついたりした状態になっていました。

そこで、写真にあるように、約8000冊の書籍を会議室と和室に一日かけて搬出しました。次に、空になった書架の一番上の部分と床の部分に頑丈な金属を2本通し、歪みを修正しました。また、この3列を相互に止めておいたトッパーを2倍の本数に増強し、書架の足を全部床にボルト止めしました。最後に、2日かけて書籍を書架に戻し、整理と点検の上、9月18日(日)より無事業務を再開しました。



↑ 会議室に並べられた書籍



↑ 空にして補強された金属書架



リフォームではないので、見た目は大きくは変わりませんが、利用者の皆様には『安心』して、より『安全』にご利用いただけるようになったものと思います。図書室の開室時間は9:45～17:00ですので、どんどんご利用いただき、「読書の秋」を深めていただければ幸いです。

「公民館主催行事」「図書室からのお知らせ」は

P2, P3 を参照ください ↓

## <10～11月の公民館主催行事について>

### ★1 わくわく楽学講座 大人のための「ちぐさ寺子屋」 千葉氏と頼朝伝説の地を巡る株

- ①日時 10月14日(金) 9:00～12:00 **申込終了!**
- ②人数・費用 抽選12名、無料(現地解散のためモノレール代等必要)

以下の講座2・3の申込方法 10月4日(火)～10日(月) 9:00～17:00電話で受付  
※抽選後、受講決定者のみ通知を致します。

### ☆2 木工教室 「杉板目で花入れを作ってみませんか」

- ①日時 10月22日(土) 9:00～12:00
- ②人数・費用 抽選・12名、材料費900円

### ☆3 わくわく楽学講座 体育「ポッチャを楽しもう!」

- ①日時 10月25日(火) 9:00～12:00
- ②人数・費用 抽選・16名、無料

以下の講座4～7の申込方法 11月2日(水)～8日(火) 9:00～17:00電話で受付

### ☆4 わくわく楽学講座 園芸「ハンギング・バスケット」を作ろう!

- ①日時 11月15日(火) 9:30～11:30
- ②人数・費用 抽選・15名、材料費2,800円

### ☆5 わくわく楽学講座 日本文化「折り紙の世界を楽しむ」

- ①日時 11月23日(水) 9:30～11:30
- ②人数・費用 抽選・10名、無料

### ☆6 健康測定会&相談会

- ①日時 11月24日(木) 13:30～14:30
- ②人数・費用 希望者は全員参加可能(事前申し込み不要)、無料

### ☆7 わくわく楽学講座 美術「押し花の世界を楽しむ」

- ①日時 11月29日(火) 9:30～11:30
- ②人数・費用 抽選・8名、材料費2,000円

## <図書室より> 10月の購入本についてのお知らせ

10月購入予定本は以下の通りです。入り口脇の新刊図書コーナーに展示してあります。お手に取っていただきご覧いただきたいと思います。

また、図書室再開に合わせて「敬老の日読書のすすめ 2022～心ゆたかに生涯読書」の本の展示を行い、リーフレットも用意しましたので是非ご利用ください。

- ・「What I'm doing 私がしていること 73 こ」 梨花
- ・「ドラマタリスト西ゆり子の服を変えれば、人生が変わる」 西 ゆり子
- ・「地球は食べ物」 ホモサピ
- ・「言葉のビミョーなちがいクイズ」
- ・「誰でもできるのに9割の人がきづいていない、お金の話」 今井 孝
- ・「最新頭痛の治し方全集」 丹羽 潔
- ・「実家じまい終らせました」 松本 明子
- ・「星屑」 村山 由香
- ・「けなげな野菜図鑑」 稲垣 栄洋
- ・「ちはやふる 49」 末次 由紀
- ・「ベスト・エッセイ 2022」日本文藝協会
- ・「どうせ死ぬなら自宅がいい 自然にまかせたがんばらない理想的な最期の迎え方」 近藤 誠
- ・「かいけつゾロリにんじゃおぼけあらわる」 原 ゆたか
- ・「大ピンチずかん」 鈴木 たけのり
- ・「勉強は役立つ 学校では教えてくれない 40」 オオタ ヤスシ
- ・「わけあって絶滅したけどすごいんです」 サトウ マサノリ
- ・「給食室のいちにち」 大塚 菜生
- ・「長い長い夜」 ルリ
- ・「がっこうにまにあわない」 ザ・キャビンカンパニー
- ・「アンパンマンとらんぼうや」 やなせ たかし